

## 北村 亘

法学研究科・教授

### 【研究】

国内外でのポピュリズム現象が指摘される中で、実証分析の観点からポピュリズム概念が検証に耐えうる概念ではないことを、大阪都構想をめぐる政治過程の検証から明らかにした。また、東日本大震災における関西広域連合の被災自治体への支援の仕方についても検証を行い、成功した点と改善すべき点について明らかにした。さらに、官僚サーヴェイ調査の成果についても通説的な官僚イメージとは異なるタイプの官僚イメージの析出に成功し、引き続き2018年度もデータ分析を行っていく予定である。他方、地方政府の自律性を中心概念にして現代日本の地方自治を明らかにする作業にも従事し、その成果は有斐閣より『地方自治論』として発刊された。

### 【教育】

特に演習では、中央省庁のご協力を得て、現役官僚との意見交換会を実施した。各省庁の施策や担当者の個人的な業務経験などを報告してもらった上で意見交換会をもった。この見学会は、学生に中央省庁などで公務員として勤務したいという気持ちをもたせる効果があり、その後の法律学などの勉強の強い動機づけにもなっている。台湾の国立政治大学の李世暉先生、石原忠浩先生が引率されてきた学生との研究発表会を行うとともに、アジア太平洋研究所に共同で訪問してアジアでのビジネス展開についての講演に参加して相互交流と見聞を深めた。

### 【管理運営】

2017年8月末まで産学連携室の室員(副理事)として文科系と理科系の橋渡しを行う業務に従事した。さらに、第2回目となる豊中地区の文理融合交流会の企画運営を行った。また、クロスアポイントメントに関する委員として副理事退任まで審査業務に従事した。公開講座運営委員としても大学が行っている各種の公開講座の企画立案に関与した。全学共通教育では、編入学生の単位読み替えの認定作業を行った。

研究科の広報室長としてホームページの充実化をはかり、その掲載内容の決定などに従事した。本部広報あるいは本部に依頼があった駿台予備校からの取材依頼にも対応した。FD委員としても、産学共創についての研修会を企画運営した。

### 【社会貢献】

中央省庁や地方自治体の各種委員や職員研修を前年度同様に務める一方、全国紙や地方紙に大都市制度や地方自治一般に関する論考やコメントを発表した。また事務事業評価委員長などの貢献が認められ、京都市長より2017年10月に自治功労者として表彰を受けた。

また、阪大 JICA プロジェクトで日本の地方自治・地方財政の講義を英語で行った。また、経済産業省の仲介で福島県川内村では人口減少の下での地方自治について講演し、兵庫県警察本部では警察署や交番の再配置に関する答申をまとめ、全国の警察機構改革の先駆けとなるモデルを提示した。台湾においても行政学者との研究交流に加えて、日本留学の経験者を対象にした講演を行った。

### 【特記事項】

産学連携室の室員(副理事)退任後も、工学研究科や理学研究科を中心とした研究者の意見交換の場に参加し、文科系との意見の乖離を埋めるべく努力し、豊中地区研究交流会の実現にも尽力した。近隣自治体と関係研究科との橋渡し役も積極的に務め、現在の産学共創本部でも必要があれば打ち合わせに参加してプロジェクトを前進させるように努力している。また、高知西高校や比叡山高校に対しては本部からの要請もあり、法学や政治学に関する出張講義を行った。